

四肢の骨折

四肢の骨折は、手足の骨折で、ひびが入った程度のものから、完全に折れて形が変わってしまうものまで多様あります。骨粗鬆症などの疾患がある高齢者で多く見られますが、小児やスポーツをする青少年など幅広い年齢に見られます。骨折の中にはレントゲン画像だけではわからないものもあります。

原因

転倒などで起こる外傷、負荷が繰り返しかかって起きる疲労、骨粗鬆症、腫瘍などが原因で起こります。

治療方法

当院では、レントゲンだけでなく、叩打痛を確認し、必要に応じてMRIやCTの画像所見から骨折のタイプ分類を行います。

ギプス・ギプスシーネの固定では、早期に体重をかけたり、骨折部分以外を動かしたりできるように様々な工夫がさせています。



↑足の骨折に対する靴型のギプスシーネ



←下腿骨の骨折に対するPTBギプス

↓手首の骨折に対するギプスシーネ



体重をかけられるギプス・ギプスシーネで早期回復・社会復帰を目指します。

また、ギプスを一部開窓し、そこにLIPUS(低出力超音波パルス療法)を行い、骨形成・骨癒合を促進します。